

こどもホタルレンジャー活動平成29年度受賞団体概要

【 環境大臣賞 】

ひろかわちょうりつ つぎ ちゅうがっこうそうごうがくしゅう けんきゅうはん
広川町立津木中学校総合学習ゲンジボタル研究班

「ホタルを支える生態系の解明」

(和歌山県有田郡広川町、14名 中学1～3年生)

【審査委員講評】

全校生14人の協力による取り組みが評価された。また、ホタルの保護だけでなく、水辺環境の解明、長年のデータ蓄積への取り組みが優れていると評価された。

【主な活動】

- ゲンジボタルの定点生息数調査と成虫・幼虫の生態研究
- ホタルの幼虫の飼育と放流、ホタル保護看板の設置
- 水質調査・カワニナ数の調査等による「ホタルの生息に適した水辺の環境」の解明
- ホタル保護や研究に関する活動事例の発表・情報発信

ホタルの保護活動と水環境やホタル」の生態についての調査研究活動を両立させながら環境保全につなげている。

また、学校と地域住民が一体となった取組となるよう、「ホタル幼虫放流会」を行ったり、ホームページによる情報発信を行っている。

【 水環境保全賞 】

いまがわ しぜん
今川こども自然クラブ

いまがわ ほたる みずべ いきもの まもろう
「今川のホタルや水辺の生き物を守ろう」

(静岡県湖西市、29名 小学4年生～中学生)

【委員講評】

学校で取り組んでいるように活動の目標、育みたい力など明快であることや環境問題の意識が高いこと、また、ホタルや水の保全だけでなく、里山も視野に入れた活動であり、市内の全小学校にも広がりつつあることが評価された。

【主な活動】

- ホタルを守る活動
 - ・生物調査・川の掃除
 - ・ホタル観察会（年2回。ただし、観察可能期間は1か月ほど）
 - ・自然観察会（月に1回実施）
- 水質・生物調査（月に1回実施）
- きれいな川を守るための活動（植樹、間伐）
- 自然保護活動を広げる取組（活動の情報発信等）

多数の市民が参加し、子どもたちの取り組みが広く市民に知られるようになってきた。また、今川とは馴染みの少ない子どもたちも活動に参加しており、市内すべての小学校の子どもたちの参加による活動であるということが、市民の自然保護の意識を変えていくよい機会ともなっている。

【 審査員特別賞 】

ホタルネットワーク^{みと}mito

「^{みとこうもんさま}水戸黄門様のホタル「^{ふっかつ}復活！」プロジェクト」

(茨城県水戸市、65名、小学生～高校生)

【委員講評】

ホタルの飼育・放流だけでなく、水環境作り、環境把握も含め、総合的に取り組んでいることが評価された。

【主な活動】

- 森の間伐
- 下草刈り
- ゴミ撤去
- ホタル再生のための環境整備（河川の流れ調整等）
- 水辺の環境調査
- ホタル鑑賞会

活動は市民や行政、大学を巻き込んだ壮大なプロジェクトへ発展した。

活動の結果、ゲンジボタルの数が大幅に増えると同時に、自然サイクルでゲンジボタルが繁殖を行っていることが証明された。

【審査員特別賞】

まつやまちょうない ほたる ふっかつ かい
松山町内にホタルを復活させる会

「ホタルを^{そだてふっかつ}育て復活させよう！第 11 号」

(秋田県由利本荘市、22 名、園児～中学 3 年生)

【委員講評】

活動が本格的で充実していることやホタルの復活を目指した地道な環境整備の活動の成果も出はじめていることが評価された。

【主な活動】

- ホタルの餌となるカワニナの放流
- 水質を良くするための植樹と森林整備
- ホタル観察会
- 水生生物や水質の調査

最初はホタルが全く飛んでいなかったが、環境を整備しホタルの幼虫とカワニナを放流した結果、毎年ゲンジボタルが沢山飛ぶようになった。

【奨励賞】

かくぶんかぶしがいしゃ
角文株式会社

「持続可能な『刈谷のホタル』の再生を目指して」
(愛知県刈谷市、320名、小学校3・4年生)

【委員講評】

企業が地域と結びついたユニークな取組であり、他企業への波及を期待されることが評価された。

【主な活動】

- 会社の施設でのホタルの飼育。
- 地域児童とのホタル幼虫の放流会の実施。
- 水環境や外来生物の学習
- ゴミの調査
- 児童への飼育指導

これからも子どもたちに様々な体験を通して環境意識を高めてもらう取組を行っていく。